



# 通信

HP 学校だより  
R6. 6. 5  
NO. 1 1  
文責 伊藤美佳



## 「アボカドは果物？それとも野菜？」

登校時に子どもたちから「アボカドって果物？それとも野菜？」と質問されました。横断歩道を渡りながらの質問ですので、木になるから果物かなとは思ったものの、答えられないまま子どもたちは通り過ぎていきました。その質問に至った経緯はわかりません。しかし、疑問に思ったこと、知りたいと感じたことは、すばらしいことです。

小学生の子どもたちは、「なんで〇〇は△△なの」「これは何」「どうして□□するの」など、気になることをどんどん質問してきます。回答を聞いて満足してしまうことも多々ありますが、もしかしたら、その質問から次の疑問に発展して新たな学びに広げていくかもしれません。また、質問されたことを「一緒に調べてみようか」と言って、調べ方を教えることができたなら、次回からは自分で調べるようになるかもしれません。そういう時には、「辞書引き」がお勧めです。どうしても、タブレット端末やスマートフォンを使って調べがちですが、その場合、多くの答えが出てきて、何が正しいのか分からないことが多いです。言葉の意味を調べたい場合にも、一問一答となるので、その言葉のみの調べとなります。「辞書引き」をすると、多くの言葉を目にして「言葉」に興味をもち、自分の身近な言葉の意味を調べるようになります。そうなれば、疑問に思った言葉をどんどん「自分で」調べはじめます。そうして、子どもたちの言葉の数がどんどん増えていきます。言葉が増えると、自分の気持ちや思いを他の人に伝えることができ、円滑な人間関係を作りやすくなります。先日の3年生の授業で、子どもたちがすぐに辞書を取り出して調べ始めた様子を見て、「辞書引き」の有効性を感じました。

「自分から」とか「主体的」がよしとされますが、初めからできるものではありません。最初はどうかすればいいかわからないでしょう。だから、疑問に思うことがあったときが学びのスタートです。日常的に、「言葉」の獲得に重きを置いていきたいと思います。また、子どもたちを取り巻く大人みんなで意識していってくださることを願います。

## 職場体験学習で中学生がやってきた

中学校2年生の職場体験学習で南部中学校から4名の生徒が豊坂小学校にやってきました。

先日の運動会で3、4年生が踊った「ソーラン節」は、南部中学校が「南中ソーラン」として伝統的に踊っているもので、運動会前に南部中学校にお願いして中学生の踊るソーラン節を動画で見せてもらいました。中学生の躍るソーラン節は迫力があり、3、4年生の意欲を高めるものでした。きっと、「あんなふうに踊れたらカッコいいな」とあこがれた子どもたちもいることでしょう。そういう関係もあり、3年生と4年2組に入ってもらうことになりました。あこがれのソーランも見せてくれるかもしれません。

人は人の中で育ちます。南部中学校の生徒が来てくれて、勉強や運動、遊びを一緒にやってくれることで、豊坂小学校の子どもたちが成長できると願っています。もちろん職場体験での経験が中学生も成長させてくれることでしょう。お互いの成長を期待しています。